



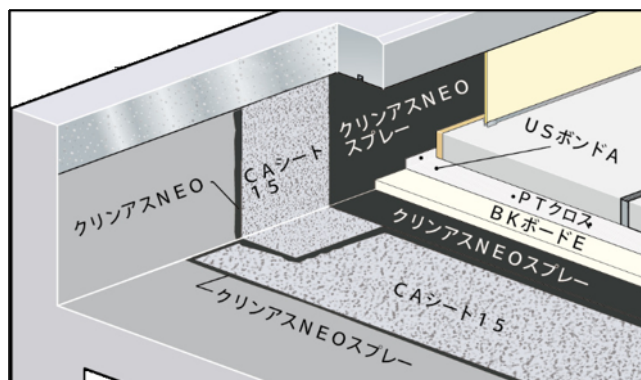
[審査証明番号/有効期限]	BCJ-審査証明-317/2031年8月16日
[技術の名称]	施工時環境配慮型常温改質アスファルト複合防水工法 「クリンアスNEO スプレー工法」
[依頼者(審査証明取得者)]	日新工業株式会社

[技術概要]

本技術は、改質アスファルトルーフィング1層を湿気硬化型1液常温改質アスファルト系塗膜防水材料を塗布しながら施工する常温工法であり、従来よりも施工が省力化され、火気を使用しないで施工できる環境配慮型常温アスファルト複合防水工法である。

また、湿気硬化型1液常温改質アスファルト系塗膜防水材料の塗布を塗装機による吹付けにすることで、従来に比べて作業負担が軽減するとともに、防水材料同士の密着性が向上する。

■保護防水仕様例(FCSI-1)



平場部

工程	材料・工法	使用量 (kg/m ²)
1	CAシート1.5 クリンアスNEOスプレー 流し張り	1.2
2	クリンアスNEOスプレー 塗布	1.2
3	BKボードE	
4	PTクロス USボンダ点付け	0.2

立上り部

工程	材料・工法	使用量 (kg/m ²)
1	クリンアスNEO	1.2
2	CAシート1.5	
3	クリンアスNEOスプレー 塗布	1.0

[開発の趣旨]

在来のアスファルト防水熱工法は、防水工事用アスファルトを用いてルーフィング類を3~4枚積層して防水層を形成する工法である。

このアスファルト防水熱工法には、水密性の信頼性が高い反面、次のような問題点がある。

- (1) 施工時における火災・火傷等の安全・衛生上の問題。
- (2) 防水工事用アスファルトを作業現場で溶融するため、溶融アスファルトから発生する煙・臭いによる環境上の問題。
- (3) ルーフィング類を3~4枚積層して防水層を形成するため、使用材料及び作業工程が多い事による作業負担の問題。

これらの問題を解決すべく、次のような目的で本工法を開発した。

- ・在来のアスファルト防水熱工法と同等の防水性能を有しながら、常温で施工可能であり、火気の使用がないためにアスファルト特有の臭気と煙の発生がなく、施工時における作業者の安全及び作業環境に配慮できること。
- ・改質アスファルトルーフィング及び湿気硬化型1液常温改質アスファルト系塗膜防水材料を使用し、作業工程数、押え金物設置などの作業負担の軽減及び軽量化を図ること。
- ・湿気硬化型1液常温改質アスファルト系塗膜防水材料の塗布を塗装機による吹付けにすることで、塗布作業及びルーフィング転圧作業の負担削減を図ること。

[開発目標及び審査証明結果]

本技術について、前記の開発の趣旨及び開発の目標に照らして審査された結果は、以下のとおりである。

- (1) 在来のアスファルト防水熱工法と同等の防水性能を有しているものと判断される。
- (2) 在来のアスファルト防水熱工法と比較して、作業工程数、押え金物設置などの作業負担が軽減されるものと判断される。
- (3) 火気を使用しないことにより、施工時における燃料消費がなく、二酸化炭素排出も塗装機の電力消費分の極僅かな量であり、常温アスファルトを採用することでアスファルト特有の臭気と煙の発生がなく、作業範囲や近隣の環境改善が図れるものと判断される。

[本技術の問い合わせ先]

日新工業株式会社

営業統括部企画広報課 TEL:03-3882-2613

技術紹介サイト

<https://www.nisshinkogyo.co.jp/catalog/asphalt/>

